

# 妊娠中にARTを開始あるいは継続 しなければならない

- CD4+細胞数またはHIV-1ウイルス量にかかわらず、すべてのHIV感染妊婦に対しARTを開始しなければならない<sup>1-4</sup>。
- 使用するレジメンは有効性が高く、安全で忍容性が良好でなければならない。
- 使用するレジメンには、胎盤通過性が高い抗HIV薬を含めなければならない<sup>1</sup>。
- 妊娠中に使用するレジメンを選択する際には、ベースラインの抗HIV薬耐性（HIVの遺伝子型および治療歴によって判定）、併存疾患、利便性、有害事象、薬物相互作用および薬物動態など、複数の因子を考慮しなければならない。
- ARTを受けている間に妊娠した女性は、使用中のレジメンが有効で、忍容性が良好であり、催奇形性のある薬剤を含んでいない場合は、同じレジメンを継続すべきである。

1. US DHHS Perinatal ART Guidelines. 2021. 2. EACS Guidelines 11.0. October 2021.

3. Saag MS, et al. *JAMA*. 2020;324(16):1651-1669. 4. WHO Guidelines. 2019.